

第2回 SSC OTからの情報発信！ ～道具紹介・文房具編～

みなさんこんにちは！作業療法士(OT)の川島です。

「SSC OTからの情報発信」では、月に数回、支援に役立つ情報を発信していきます。今月は、みんなが使いやすい道具や、身近な道具の工夫を見ていきましょう！今回は文房具を中心にご紹介します。

「書く」道具

・鉛筆の持ち方グリップ

鉛筆の持ち方グリップには、指を当てる位置にくぼみがついているものや、指に挟んで使うものなど、様々なものがあります。使いやすいものを選びましょう。

たとえば、強く握りこみすぎてしまう子には、球状のものがおすすめです。



「描く」道具

・作図しやすい文房具

裏にすべり止めのついた定規(写真左)を使うと、作図中に定規がずれることによる線の歪みを減らせます。

また、握って回すことで円を描くことができるコンパス(写真右)は、指先の細かい操作が必要なく、腕全体を動かして簡単に作図することができます。

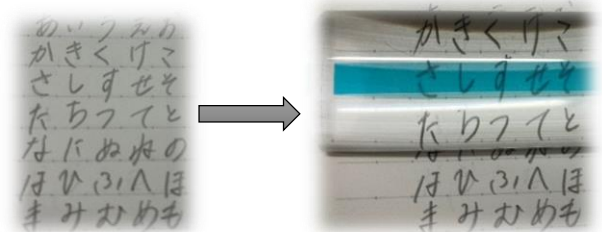


「読む」道具

・リーディングトラッカー

文章の行に合わせて置くことで、どこを読んでいるのかがわかりやすく、読み飛ばしを減らせます。

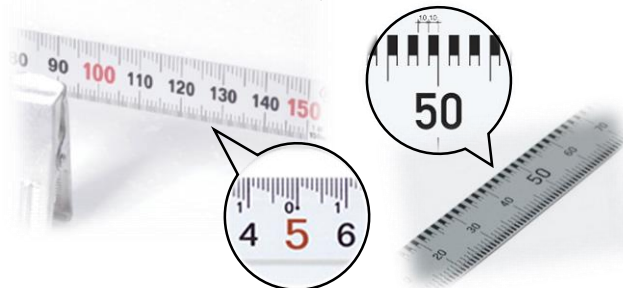
文字を二倍に拡大できるものもあり、小さな文字を読む場合には便利です。



「測る」道具

・目盛が読みやすい定規

1mmの目盛が段差状になった定規(写真左)や、目盛の間に色がついている定規(写真右)などは、細かい目盛を数えるのがあまり得意でない子が、数えやすく感じられる場合があります。



他にも、デジタル機器の活用など、様々な支援方法が考えられます。一番大切なのは、お子さん自身にそのやり方が合っているかどうかです。いろいろなやり方を試して、一人一人に合った方法を探してみてください。

なお、今回紹介した道具の一部は、SSC執務室前に実物を展示しています。